

ANNUAL REPORT 2022



公益財団法人静岡県文化財団

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号
TEL. 054-203-5710 FAX. 054-203-5716 <https://www.shizuoka-cf.org/>



<https://www.granship.or.jp/>



アーツカウンシルしずおか
ARTS COUNCIL SHIZUOKA
<https://artscouncil-shizuoka.jp/>

公益財団法人静岡県文化財団

2022年度年次報告書

ご挨拶

令和4年度を振り返りますと、長引く新型コロナウイルス感染症や、ウクライナ情勢に伴う原材料やエネルギー等の価格高騰により、当財団の経営にも大きな影響が及ぼされ、難しい舵取りを余儀なくされた一年でありました。

しかしその中でも、5月には3年ぶりに行動制限のない大型連休を迎え、恒例の「グランシップこどものくに」「トレインフェスタ」ではコロナ前に近い水準まで賑わいを取り戻すことができ、繰り返される感染拡大の波に振り回されながらも、アフターコロナの世界へと着実に歩みをはじめた1年でもありました。

また、今年5月には、9年間の長きにわたりご尽力いただいた石塚正孝館長が勇退され、後任として、SPAC芸術総監督でもある宮城聰館長が就任されました。世界的な演出家である宮城新館長を迎え、当財団が運営するグランシップ、アーツカウンシルしずおかが一丸となり、コロナ禍で分断や孤立を感じた人々が健やかに生き、活力のある地域社会の実現に向けて取り組んでまいります。

当財団では、アフターコロナの時代を見据え、中期構想の改訂を行いました。新たな構想に基づき、心豊かで多様性と活力のある社会を形成する源泉となる、文化芸術の本来の持っている価値を認識し、職員一同、一層の研鑽を重ね、皆さまに等しくご満足いただける財団として、本県文化振興の一翼を担うべく運営に努めてまいります。



公益財団法人静岡県文化財団 理事長 中西勝則

再び賑わいはじめたグランシップ

新型コロナウイルス感染症の拡大状況も落ち着きを見せ始めた2022年。グランシップにおいても引き続き感染対策を取りながら、企画事業の大型イベント「グランシップトレインフェスタ」や「グランシップ音楽の広場」も3年ぶりに開催することができた。また、夏から秋にかけて実施する事業を「グランシップサマーフェスティバル」として位置づけ、家族で楽しめる音楽や伝統芸能の公演、ワークショップなどを開催し、グランシップに子どもたちが集い、賑わう様子が見られた。

出前公演や学校プログラム等の事業も、ほとんど中止やキャンセルが発生することなく実施することができ、コロナ禍前の姿が戻りつつある。



目次

2022年度 TOPICS	3
はじめての劇場しずおか～文化芸術の体験～	4
創造的な活動への支援～アーツカウンシルしずおか～	18
グランシップの施設利用	22
データで見るその他の取り組み	26
静岡県文化財団を支える人々、ご協賛・ご協力団体・企業	28
事業体系図	29
決算状況	30
沿革・組織図	31



世界お茶まつり名誉総裁 三笠宮彬子女王殿下も来館

また、施設利用においても、コロナ禍からの回復の兆しが見られ、全国大会や学会大会など大規模催事が開催された。2022年9月「第50回全国アマチュアオーケストラフェスティバル静岡大会」、10月「世界お茶まつり2022秋の祭典」には皇族も列席され、全国各地より多くの方々がグランシップに集まり、学術・文化の拠点として集いをささえるグランシップを推進した。

はじめての劇場しずおか～文化芸術の体験～

公益財団法人静岡県文化財団では、地域や世代、障害の有無に関わらず多くの県民が多彩な文化芸術に触れられる機会を持てるよう取り組んでいる。特に子どものうちから文化芸術を体験し、豊かな感性や想像力を育むことを重点目標の一つとしている。

子どもたちがアートと出会う夏

2022年夏に行われた「グランシップサマーフェスティバル2022」では、コロナ禍で体験の機会が著しく減った子どもたちのために、劇場から子どもたちに贈るギフトとして、夏休みに多様なアートに触れられるプログラムを用意。アーティストと協力し、オリジナル性の高い事業を展開した。

こどもたちとつくるおとぎの世界～不思議の国のアリス～

参加者は「不思議の国のアリス」をイメージした会場で、ライブペインティングパフォーマー・打楽器奏者・舞台美術家とともに、「不思議なトンネルに絵を描こう」、「自分だけの楽器をつくろう」、「ヘンテコ帽子をつくろう」の3つのワークショップを体験。後半は、ワークショップで作ったものを持ってコンサートに参加した。

8/27(土)、28(日)
6階交流ホール他 86人
講師:近藤康平、山本晶子、長峰麻貴
出演:フラワービート



グランシップ世界のこども劇場2022

世界の子どもたちを魅了するアーティストたちによる、言葉を越えて楽しめるパフォーマンス。海外カンパニーによる公演「人生のおくりもの クレイジーな2人のおはなし」(イタリア)、「女王の子」(アルゼンチン)のほか、日本からは狂言「柿山伏」を上演。「女王の子」は出前公演として菊川市でも開催した。

8/4(木)～6(土) 中ホール他 499人
出演:コンバーニア・ロディージオ(イタリア)
ラ・ガレラ・エンカンターダ・グループ(アルゼンチン)
三宅近成、金田弘明

8/11(木・祝) 菊川文化会館アエル 大ホール 171人
出演:ラ・ガレラ・エンカンターダ・グループ(アルゼンチン)



「人生のおくりもの クレイジーな2人のおはなし」
にっぽんこども劇場
～狂言「柿山伏」～

「グランシップ 誰もがWonderfulアート」関連企画 「INTER-WORLD/SPHERE」「くうきワークショップ」「オープンアトリエ」

秋に開催した「グランシップ 誰もがWonderfulアート」の出演作家である美術家・奥中章人が県民と共に作品を制作するオープンアトリエの他、「くうき」をテーマにしたワークショップ、屋外での作品展示を実施。

7/30(土)・31(日)、8/2(火)～7(日)、
11(木・祝)、14(日)、27(土)・28(日)
6階展示ギャラリー、グランシップ広場
3,239人 協力:奥中章人



キノ・イグルーの不思議の国のえいがかん



小さな子どもたちが家族と一緒に楽しめる映画体験ができるよう、一日限りの「不思議の国のえいがかん」が登場。アーティストによる装飾が施された特別な空間で、全国各地で上映会を行うキノ・イグルーがセレクトした国内外の短編作品と夏にぴったりの人気アニメーション作品を上映。

8/11(木・祝) 大ホール・海 309人
出演:キノ・イグルー(映画セレクト・解説)
近藤康平(空間装飾)

「コンサートマスターに会いに行こう!」「能楽師に会いに行こう!」



コンサートマスターに会いに行こう!
7/31(日) 大ホール・海
57人 出演:西本幸弘

能楽師に会いに行こう!
8/17(水) 地下リハーサル室
25人 出演:山階彌右衛門 他

幼い頃に御殿場市でヴァイオリンを始め、複数のプロオーケストラでコンサートマスターを務める西本幸弘との合同演奏、静岡と縁の深い観世流の能楽師・山階彌右衛門による能楽の所作体験などを通して、子どもたちが第一線で活躍する芸術家の素顔に触れ、交流する貴重な機会となった。

「グランシップサマーフェスティバル2022」関連事業

8/14(日) グランシップ ビッグバンド・ジャズ・フェスティバル2022
9/4(日) 【提携公演】第50回全国アマチュアオーケストラフェスティバル静岡大会 フェスティバルコンサート
9/11(日) M.オルソップ指揮 ポーランド国立放送交響楽団 ピアノ:角野隼斗

子どもたちへ、成長に合わせた芸術体験を

舞台芸術のエッセンスはそのままに、年齢や成長段階に応じた形で、グランシップのみならず県内各地の学校や会館へ、音楽や伝統芸能を届けた。

未就学児～小学生 グランシップこどものくに～くねくねびよん～

小さな子どもたちが、家族と一緒に遊びながら造形体験ができる参加型イベント。今回のテーマは「線」。大きなクレヨンや光るゴムを使って線や絵を描いたり、藁から縄を、羊を模した綿から糸を作り、個性豊かな作品を生み出した。



5/2(月)～5(木・祝)
6階展示ギャラリー・交流ホール、大ホール・海 他
5,676人

小学生 グランシップ子どもアート体験! 学校プログラム「六代目宝井馬琴監修 講談教室」



国内外で活躍する一流の芸術家による学校でのアウトリーチ事業を県内各地で展開。日本の伝統話芸「講談」を取り上げた回では、プロの実演を聞くだけでなく、生徒自らが声を発し、張扇を使って演じることで、講談という芸能の魅力や日本語表現の豊かさにダイレクトに触れる機会となった。

①11/18(金) 下田市立朝日小学校
②11/21(月) 静岡市立清水船越小学校
③11/22(火) 富士宮市立黒田小学校
257人 講師:宝井琴星、宝井琴鶴

中学生 【グランシップ出前公演】中学生のためのオーケストラ(三島市)

国内屈指のプロオーケストラの演奏を劇場で体験する機会を静岡県内の中学生へ毎年提供している本事業では、中学生の自由な感性を育むため、あえて交響曲などの大曲を全曲通して演奏している。2022年度は初めて東部地区で開催。指揮者・角田鋼亮による親しみやすい解説やオーケストラ・アンサンブル金沢の洗練された演奏を、中学生たちは全身で受け止めるようにじつりと聴き入っていた。

1/23(月) 三島市民文化会館 1,710人
出演:角田鋼亮(指揮)、オーケストラ・アンサンブル金沢(管弦楽)



中高生 国立劇場 歌舞伎鑑賞教室

前半の「歌舞伎のみかた」では、学生と同世代の若手歌舞伎俳優が歌舞伎の楽しみ方や、これから上演する演目の見どころをわかりやすく解説。後半は本格的な歌舞伎「彦山権現誓助剣」を鑑賞。歌舞伎俳優の演技や、舞台装置等に日本の伝統芸能の代表格である歌舞伎の世界観を全身で体感した。



6/23(木)
中ホール・大地
1,496人
出演:
中村又五郎、
片岡孝太郎 他

大学生 仲道郁代大学レクチャー

静岡県文化財団では県内の教育機関と連携し様々な取り組みを行っている。2021年度に続き2022年度はピアニスト・仲道郁代が、常葉大学で教員を目指す学生を対象に全2回のレクチャーを実施。学生は実行委員会を立ち上げ、講義内容の検討から当日の進行や運営も担当。1回目は「感性とは、感性を育むとは」をテーマにした講義形式。2回目は座談会形式で、学生が準備した問いを深める形で進めた。学生は講師から音楽教育に留まらない、これからの時代を生きる世代への強いメッセージを受け取った。



10/19(水)、1/20(金) 常葉大学草薙キャンパス
185人 講師:仲道郁代

多彩な芸術を、多様なアプローチで

音楽をはじめとする舞台芸術を上演。世界最高レベルの演奏の鑑賞機会を定期的に提供するほか、出演者による事前レクチャーや注目のジャズ・ロックバンドの公演、異なるジャンルのクロスオーバー企画などで新たな来場者の創出に取り組んだ。

M.オルソップ指揮 ポーランド国立放送交響楽団 ピアノ:角野隼斗



9/11(日) 中ホール・大地 899人 出演:マリン・オルソップ(指揮)、角野隼斗(ピアノ)、ポーランド国立放送交響楽団(管弦楽)

東欧最高峰と称賛されるポーランド国立放送交響楽団が、バーンスタインの愛弟子、マリン・オルソップと共に登場。ソリストは、2021年第18回ショパン国際ピアノ・コンクールのセミ・ファイナリストであり、YouTuber「Cateen(かていん)」として幅広い年代に支持される人気ピアニスト・角野隼斗。ショパン生誕の地のオーケストラとショパンの「ピアノ協奏曲第1番」を熱演。親子席を用意した本公演では子どもたちや学生の姿も多く、満員御礼の会場は大きな拍手で包まれた。

鈴木優人指揮 バッハ・コレギウム・ジャパン モーツァルト レクイエム



世界的に高く評価される古楽器のオーケストラ・合唱団であるバッハ・コレギウム・ジャパンが、森麻季、藤木大地等豪華ソリストと共に演奏。指揮者の鈴木優人が自ら補筆校訂したモーツァルト最後の作品と言われる「レクイエム」を演奏した。事前レクチャーでは、講師の鈴木優人がピアノ演奏や貴重な画像を交えながら聴きどころを紹介し、本公演への期待を高めた。

10/29(土) 中ホール・大地 651人
出演:鈴木優人(指揮)、森麻季(ソプラノ)、藤木大地(アルト)、櫻田亮(テノール)、ドミニク・ヴェルナー(バス)、バッハ・コレギウム・ジャパン(合唱・管弦楽)



事前レクチャー
10/15(土)
地下リハーサル室
63人
講師:鈴木優人

グランシップ プレミアム・クリスマス・ジャズ・ライブ ブルーノート東京 オールスター・ジャズ・オーケストラ directed by エリック・ミヤシロ



スーパートランペッター エリック・ミヤシロが音楽監督を務めるビッグバンドがグランシップのステージに初登場。中川英二郎や本田雅人といった日本ジャズ界のトッププレイヤーで構成された“スター軍団”によるパワフルな響きは静岡のジャズファンや吹奏楽に取り組む学生に強いインパクトを与えた。

12/18(日) 中ホール・大地 816人
出演:エリック・ミヤシロ(トランペット・指揮)
本田雅人、鈴木圭、庵原良司、竹村直哉、寺地美穂(サクソ)
小澤篤士、山崎千裕、古屋ひろこ、具志堅創(トランペット)
中川英二郎、半田信英、藤村尚輝、小椋瑞季(トロンボーン)
宮本貴奈(ピアノ・キーボード)、川村竜(ベース)、川口千里(ドラム)



グランシップ ジャズ・ロック・ライブ fox capture plan X bohemianvoodoo

同じ音楽レーベルに所属する盟友2バンドによるライブを大ホール・海で開催。近年映画やテレビドラマへの楽曲提供が話題を集めるfox capture planと、エモーショナルなメロディラインが世代を超えて人気のbohemianvoodooの共演という、首都圏でも見られる機会が少ない構成に県内外から若い世代の音楽ファンが集結。大空間でのオリジナル映像を駆使した演出や、今回が初となる2バンドのコラボレーション演奏が多くのファンの胸を熱くした。

3/4(土) 大ホール・海 985人
出演:fox capture plan、bohemianvoodoo



fox capture plan

bohemianvoodoo

コラボレーション演奏

本と音楽の素敵な出会い 檀ふみの文学「おと」散歩～言葉と音のある風景

文学と音楽という異なるジャンルが出会い、相互の魅力を引き出し合うクロスオーバー企画。3回目となる今回は、文学や音楽に造詣の深い俳優・檀ふみが登場。日本が誇る音楽家たちの演奏が、檀ふみの柔らかなトークや朗読と相まって、観客を名作文学の世界へ誘い、文学ファンと音楽ファンの双方にとって充実感のある公演となった。

11/5(土) 中ホール・大地 275人
出演:檀ふみ(お話・朗読)、天羽明恵(ソプラノ)、渡辺玲子(ヴァイオリン)、江口玲(ピアノ)、浦久俊彦(ナビゲーター)



2022年しずおか連詩の会

詩人・作家・歌人として、それぞれの言葉の世界を探求する5人が、3日間に渡り40編の詩(連詩)を制作。完成したばかりの連詩を披露するとともに、本人の朗読や解説付きで発表するオリジナル企画。詩人たちが語るお互いの言葉に触発される様子等について来場者たちは興味深く聞き入り、言葉がもたらす新しい世界や可能性に出会う機会となった。

11/6(日) 11階会議ホール・風 208人
出演:野村喜和夫、堀江敏幸、田中庸介、木下龍也、暁方ミセイ

伝統芸能、はじめの一步を応援

「歌舞伎」・「能楽」・「文楽」を軸に、日本の伝統芸能や話芸に触れられる公演を実施。難解と思われがちな伝統芸能に初心者や若い世代が挑戦できるよう、事前レクチャーなど「入門編」にあたる公演や字幕などを用意し、鑑賞を後押しした。

伝統芸能シリーズ講演会 「岩下尚史の伝統芸能へようこそ！」

日本の伝統芸能に詳しい作家・岩下尚史が、わかりやすくその魅力を伝える講演会。「能楽」を紹介する今回は、観世流能楽師の山階彌右衛門、歴史学者の小和田泰経をゲストに迎え、クロストークを実施。静岡に縁の深い徳川家と能楽の関わりを、作家・能楽師・歴史学者がそれぞれの視点から読み解いた。来場者は翌年に開催する「グランシップ静岡能」への理解を深めた。



12/3(土) 6階交流ホール
156人 出演:岩下尚史、山階彌右衛門、小和田泰経

グランシップ静岡能

新年に本格的な能を楽しめる「グランシップ静岡能」。2023年大河ドラマで注目を集めた徳川家康が舞ったとされる夢幻能「松風 戯之舞」と、蜘蛛の糸が飛び交う華やかな演出が人気の「土蜘蛛」、狂言「樋の酒」を上演。能楽ならではの幽玄の美の世界と、ダイナミックで華やかな演目という対照的な内容の組み合わせにより、能楽の表現の幅広さを感じられる構成で提供した。着物での来場者へのプレゼント企画なども実施し好評を得た。



1/21(土) 中ホール・大地
553人 出演:山階彌右衛門、観世三郎太、三宅右近 他

【出前公演】グランシップ静岡能(菊川市)



2021年1月に新型コロナウイルス感染症によって中止となった公演を延期して開催。観世流能楽師による迫力ある「一角仙人」の他、狂言「寝音曲」を菊川市で上演。また、観劇とセットで話題のスポット「KADODE OOIGAWA」や花菖蒲の名所「加茂荘花鳥園」を巡る、県中部地域発着のバスツアーも企画。地元菊川市を中心に広域からも来場者を集めた。

5/29(日) 菊川文化会館アエル 大ホール
263人 出演:山階彌右衛門 他



人形浄瑠璃 文楽

静岡県文化財団では、日本が誇る伝統芸能でユネスコ無形文化遺産である「人形浄瑠璃 文楽」を県内唯一の鑑賞機会として毎年開催している。昼の部では近松門左衛門の代表作のひとつ「冥途の飛脚」、夜の部では浄瑠璃三大名作のひとつ「菅原伝授手習鑑」を上演。太夫・三味線・人形遣いが三位一体となり、哀切極まる物語の空間を生み出した。

10/8(土) 中ホール・大地
769人 出演:人形浄瑠璃文楽座



グランシップ子どもアート体験! 学校プログラム「人形浄瑠璃 文楽出前講座」、「わかる! 文楽入門講座」

県内の小中学校2校に文楽の技芸員が訪問し、子どもたちに向けて文楽の魅力伝えるアウトリーチを実施。実演を鑑賞するとともに、子どもたちが自ら文楽人形を動かす体験も行い、それまで未知であった文楽という芸能を知るきっかけを作った。また、10月にグランシップで開催した「人形浄瑠璃 文楽」公演当日には、チケット購入者を対象に「わかる! 文楽入門講座」を実施。文楽人形遣いで人間国宝である桐竹勘十郎が、人形の仕組みや人形遣いの働きなどを具体的に解説。文楽への知識や関心をより高める場となった。

「人形浄瑠璃 文楽出前講座」
①6/28(火) 静岡市立長田西小 141人
②6/29(水) 富士市立須津中 369人

「わかる! 文楽入門講座」
10/8(土) 6階交流ホール 167人
出演:人形浄瑠璃文楽座



【出前公演】につぼんこども劇場～浪曲わんだーらんど～(下田市)



静岡県文化財団では子どもたちが楽しみながら日本の伝統芸能に触れられる「につぼんこども劇場」シリーズをオリジナル事業として実施している。今回は浪曲師の玉川奈々福とともに下田市を中心とした伊豆地域の子どもたちへ「浪曲」を届けた。公演では、浪曲についての説明の後、玉川奈々福オリジナルの「浪曲シンデレラ」を上演。表情豊かに語ることで生まれる臨場感に子どもたちは驚きの声をあげた。また子どもたちから集めたエピソードをその場で浪曲にアレンジする即興浪曲や三味線体験なども実施。伝統芸能を身近に感じる場を提供した。

2/23(木・祝) 下田市民文化会館 48人
出演:玉川奈々福、沢村まみ、玉川奈みほ

地域と共に創るステージ

地域の人々や県内の学校・文化団体・企業と協力し、静岡に生きる人が主役となる公演・イベントを実施。公演を通して生まれたつながりを活かし、更なる県民の文化活動の振興を目指し取り組んでいる。

グランシップ音楽の広場2022



「クラシック音楽をもっと身近に感じてほしい」という思いから始まった県民参加型コンサート。13回目となる今回はコロナ禍を経て3年ぶりに開催。県内各地から集結したアマチュア演奏家、そして静岡県で音楽やダンスに取り組む子どもたちが、プロの音楽家と共にひとつのステージを創り上げた。また、作曲家・野平一郎がこのコンサートのために作曲した「祝祭の打〜輝け五大陸〜」では、五大陸に見立てた五つの和太鼓がオーケストラを囲むように配置され、国内外で活躍する和太鼓奏者・林英哲率いる英哲風雲の会が県民オーケストラと共に演奏した。グランシップでは今後も地域の音楽文化の更なる振興を目指し県民と共に歩いていく。

8/7(日) 大ホール・海 1,787人
 出演:松村詩史・浅野将己(指揮)
 仲道郁代(ピアノ)、林英哲・英哲風雲の会(和太鼓)
 腰越満美(ソプラノ)、笛田博昭(テノール)
 グランシップ音楽の広場オーケストラ
 袋井 月見の里ジュニアオーケストラ
 グランシップ音楽の広場エール合唱団
 Karasawa Dance Crew、堀尾正明(司会)

グランシップ ビッグバンド・ジャズ・フェスティバル2022

県内で活動するアマチュアビッグバンドが出演。学生バンドから結成60年を迎えた老舗バンドまで、それぞれの個性が光る演奏を披露し、国内外で活躍する実力派ジャズヴォーカリスト・平賀マリカとのコラボレーションも実現。楽器体験コーナーでは、各バンドと協力し子どもたちの演奏体験をフォローした。

8/14(日) 大ホール・海 896人 出演:平賀マリカ、静岡県内アマチュアビッグバンド10団体



グランシップ 誰もがWonderfulアート



障がいの有無に関わりなく、誰もがかけがえのない素晴らしい存在であることを、アートを通じて表現する美術展。静岡県ゆかりのアーティストである美術家・奥中章人の作品「くうきとみずとひかりなわたしたち」は、事前に実施した「オープンアトリエ」の参加者と共に制作された。県内特別支援学校の児童・生徒の作品からは創作活動に対する純粋な喜びや工夫が感じられ、個性豊かな作品群に多くの人が足を止めて見入っていた。

9/22(木)~10/9(日) 6階展示ギャラリー 2,544人
 協力:奥中章人、静岡県内特別支援学校

グランシップトレインフェスタ2022

グランシップ全館で開催される日本最大規模の鉄道イベント。県内外からの鉄道模型クラブと、県内鉄道会社の協力のもとで実施。工夫を凝らした鉄道模型や物語を感じるジオラマ、鉄道会社のオリジナルグッズなどを展示・販売した。幅広い世代が楽しめる内容で、鉄道文化を通して、県内はもとより全国各地から多くの家族や鉄道ファンで賑わう2日間となった。

5/14(土)・15(日)大ホール・海 他 14,284人
 参加:鉄道模型クラブ30団体、静岡県内鉄道会社9社

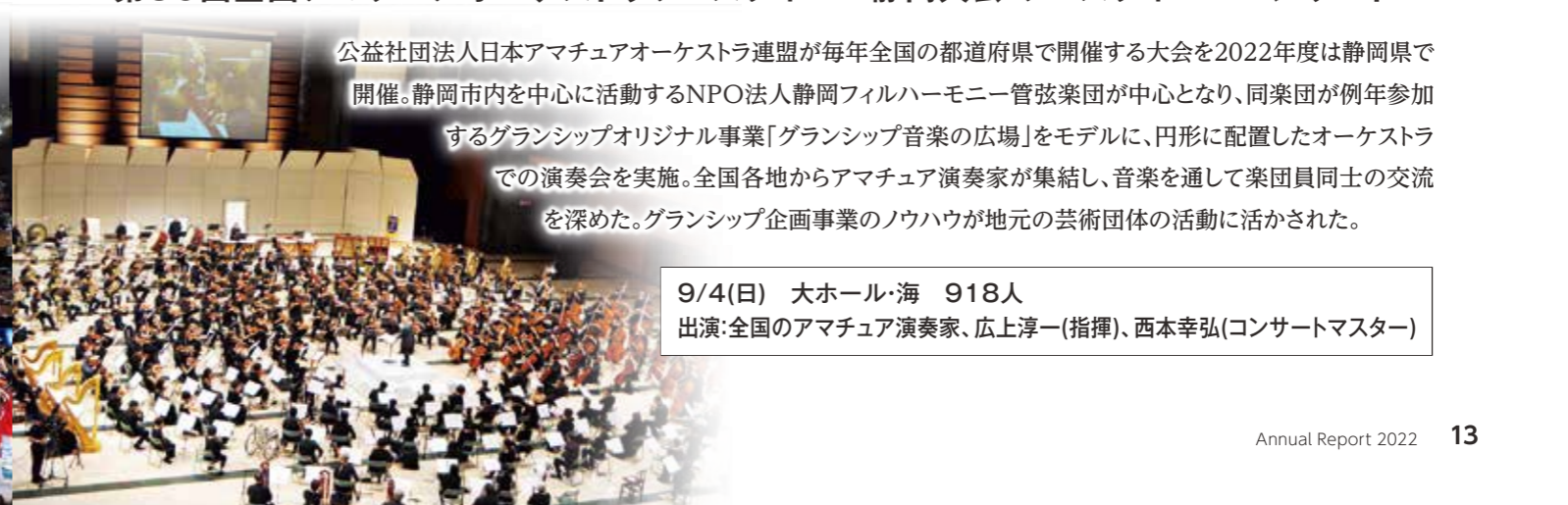


【グランシップ提携公演】

第50回全国アマチュアオーケストラフェスティバル静岡大会 フェスティバルコンサート

公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟が毎年全国の都道府県で開催する大会を2022年度は静岡県で開催。静岡市内を中心に活動するNPO法人静岡フィルハーモニー管弦楽団が中心となり、同楽団が例年参加するグランシップオリジナル事業「グランシップ音楽の広場」をモデルに、円形に配置したオーケストラでの演奏会を実施。全国各地からアマチュア演奏家が集結し、音楽を通して楽団員同士の交流を深めた。グランシップ企画事業のノウハウが地元の芸術団体の活動に活かされた。

9/4(日) 大ホール・海 918人
 出演:全国のアマチュア演奏家、広上淳一(指揮)、西本幸弘(コンサートマスター)



地域の文化を支える人材育成

誰もが文化芸術を体験しやすくなる環境づくりを進めるため、静岡県ゆかりのアーティストとの協働でのアウトリーチ活動や県内公立文化施設の職員を対象とした、知識の研鑽・交流をはかる研修を行った。またインターンシップに参加した学生には今後の進路に活かせるよう、より実践的な経験ができる機会を提供した。

第1期(2022-2024年度登録)グランシップ登録アーティスト

静岡ゆかりの音楽家と協力し、子どもたちにとって身近な場所で音楽に触れられるよう県内の学校等で演奏会を実施する「グランシップアウトリーチ登録アーティスト」制度をリニューアル。オーディションで選ばれた4組のアーティストが「第1期(2022-2024年度登録)グランシップ登録アーティスト」として活動を開始した。

ALBOSTリオ	古川春美(パーカッション)、久米涼子(ピアノ)、望月恵(マリンバ)
Duologue	大川美南(フルート)、田中亚希子(ピアノ)
Trio WINGS	村上夢子(ピアノ)、戸村愛美(サクソフォン)、三浦玲太(サクソフォン)
ミナトニカ	西川奈穂(ヴァイオリン)、金原麻美(ピアノ)、池谷隼人(サクソフォン)

研修

専門家の指導のもと、音楽的な技術だけに留まらず、子どもたちとのコミュニケーションの取り方や子どもの特性に合わせたプログラムの組み方などについて学びを深めた。その上で、音楽を通して子どもたちに伝えたいメッセージを明確にして、学校での公演に臨んだ。年度の終盤には事後研修を実施し、活動を通じて気付いた点や悩んだ点について話し合った。



学校でのミニコンサート

事前に行った学校の下見や教員との打ち合わせなどから、地域性や学年ごとに異なる生徒の特徴や傾向をつかみ、その都度プログラムを検討。当日は、子どもたちの反応を感じながら演奏やトークを展開した。



ファーストイヤー公演「あなたと出会うコンサート」

一年間の集大成として、第1期グランシップ登録アーティスト4組が合同で出演する演奏会を開催。アーティストたちは選曲や演出などにアイデアを出し合い、練習を重ねて本番を迎えた。会場内では学校での活動についても紹介し、来場者からは「地元音楽家の活動を応援したい。」と共感の声寄せられた。今後の活動に向けて、演奏技術やコミュニケーション技術等にさらなる磨きをかけていく。



静岡県公立ホール連携支援研修事業



県内の公立文化施設職員や文化行政に関わる職員等を対象に、「『withコロナ』を乗り越えた先にある『地域と公立ホールの在り方』」をテーマに開催。企画制作力の向上、各館連携の強化、公立ホールによる地域活性化を目指し、半年間で10回の講座を開催した。

開催日	テーマ	講師
6/8(水)	『研修のミッションを共有するためのキックオフミーティング』	坂元勇仁(レコーディング・ディレクター) 花田和加子(ヴァイオリニスト、地域創造公共ホール音楽活性化事業コーディネーター)
6/27(月)	『コロナ禍の今考える 文化施設の課題と使命』	松浦茂之(公益財団法人三重県文化振興事業団 三重県文化会館副館長兼事業課長)
7/11(月)	『劇場法から振り返る』	中村美帆(青山学院大学総合文化政策学部准教授)
8/29(月)	『市民の生命が輝く文化事業とは～施設のミッションが、自治体が抱える課題解決と連続性を持っているか～』	久保田力 (サザンクス筑後/公益財団法人筑後市文化振興公社 事務局長、 こどもあーとACTION代表 プレイ集団 YOU▷遊代表)
9/26(月)	『アウトリーチの現場より～地元アーティストとの協働の意義』	生田創(長久手市文化の家 生涯学習課 課長補佐)
10/24(月)	『広報しなくても人が集まる。住民参画型の広報のしくみ。』	土肥潤也(みんなの図書館さんかく館長)
11/14(月)	オリジナル事業の企画・立案	坂元勇仁、花田和加子
11/28(月)	オリジナル事業のプレゼンテーション	
12/12(月)	振り返りとまとめ	
2023年2/28(火)	フォローアップセミナー	

インターンシップ

アートマネジメントや文化施設の運営業務、公演開催などに関心のある学生16名が県内外から参加。6～9月にかけて、座学から企画事業の実地研修まで、実践的な内容で実施。11月にも短期インターンシップを実施し、8名が参加した。



日程	実施場所	出演	日程	実施場所	出演
5/13(金)	静岡県立袋井特別支援学校	ALBOSTリオ	10/18(火)	静岡県立浜松みをつくし特別支援学校	Duologue(デュオログ)
6/7(火)	静岡県立静岡視覚特別支援学校	ALBOSTリオ	10/20(木)	菊川市立横地小学校	ALBOSTリオ
6/30(木)	西伊豆町立仁科小学校	Duologue(デュオログ)	10/24(月)	静岡市立清水岡小学校	ミナトニカ
7/5(火)	静岡市立服織西小学校	TrioWINGS	11/16(水)	静岡県立浜松視覚特別支援学校	ミナトニカ
10/3(月)	掛川市立倉間小学校	ミナトニカ	1/11(水)	静岡県立伊豆の国特別支援学校	TrioWINGS

令和4年度 主催事業（企画事業）

Table with 6 columns: 戦略目標, 事業形態, 日程, 催事名, 内容等, 会場. Lists various cultural events such as festivals, workshops, and performances.

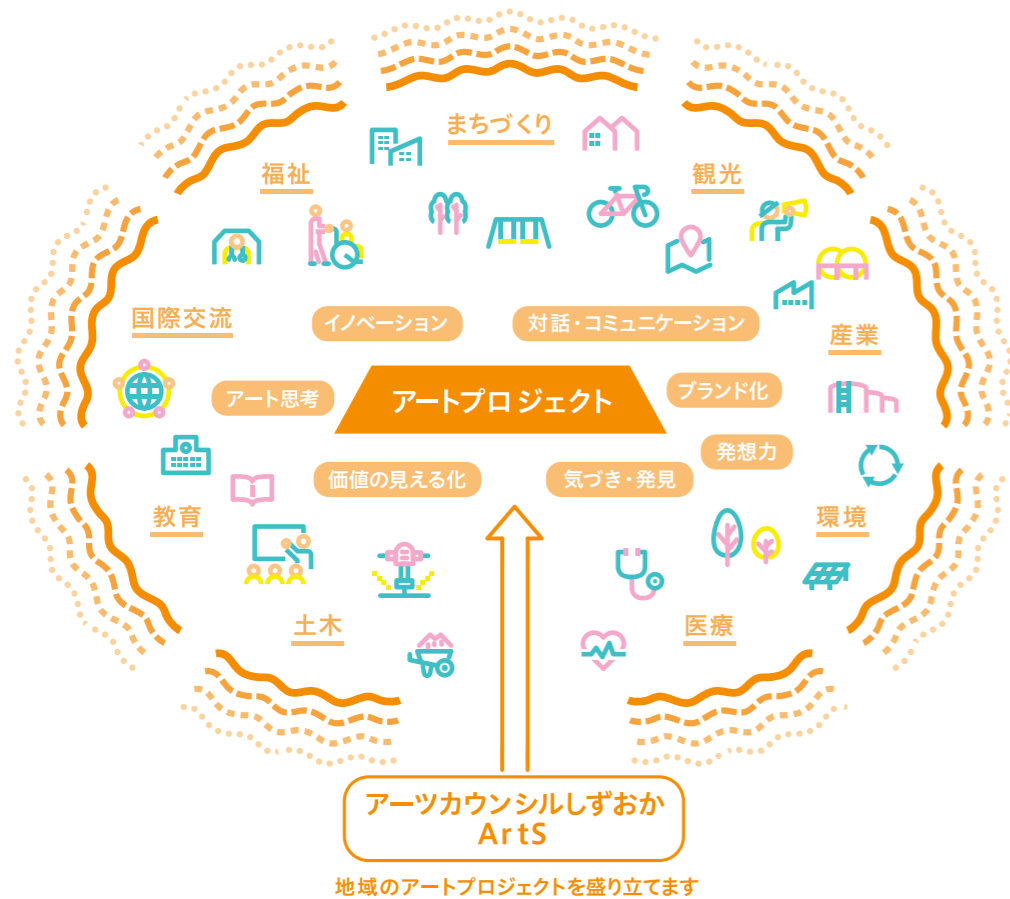
Table with 6 columns: 戦略目標, 事業形態, 日程, 催事名, 出演者・内容等, 会場. Lists cultural events with specific performers and venues, including music and dance performances.

新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業

Table with 2 columns: 事業名, 内容. Lists cancelled events such as 'Grain Children Art Experience' and 'Traditional Arts Children's Summit'.

“すべての県民が作り手(表現者)”となることを目指して

2021年4月よりアーツカウンシル事業が本格稼働して2年が経過した。社会の様々な分野において、地域資源の活用や社会課題に対応し実施される住民主体の創造的な取組“アートプロジェクト”への支援を事業の柱として、2022年度は、アートの「社会的価値」への考察をより一層深め、アートの力が様々な分野の取組の「媒介」として活かされるよう、企業や自治体との連携も図りながら多くの事業を展開した。



2022年度「文化芸術による地域振興プログラム」実施団体キックオフ・ミーティング

実施事業

1 文化芸術による地域振興プログラム

住民主体のアートプロジェクトを活性化するため、社会の様々な分野の担い手が「住民プロデューサー」となり、地域資源や社会課題を顕在化させ、地域活性化や課題への対応を目指す創造的なプログラムを募集し、採択したプログラムについて、経費の一部を助成するとともに、プログラム・ディレクター、コーディネーターが団体のニーズに応じた助言等の支援を随時行った。

制度内容および交付決定

助成金の区分	対象	助成金額上限	補助率上限	応募件数	交付決定件数
地域クリエイティブ支援	先駆的取組を行うプログラム	5,000千円	助成対象経費の4分の3以内 又は2分の1以内	60件	19件
地域はじまり支援	先駆的事業の実施に向けて 試行的に取り組むもの	300千円	助成算定経費※の 10分の10	25件	12件

※助成事業の実施に要する経費から補助金、負担金、その他の収入(自己資金を除く)を控除した額のうち助成対象経費に該当する経費

2 マイクロ・アート・ワーケーション

将来の住民プロデューサーを発掘し、新たなアートプロジェクトの創出につなげるとともに、地域の魅力発信や関係人口の増加に寄与することを目的に、クリエイティブ人材のワーケーションを実施し住民とクリエイティブ人材が会うきっかけをつくった。



区分	受入団体(ホスト)	クリエイティブ人材(旅人)
対象	県内に拠点を置く様々な分野の団体	クリエイティブ人材 (アーティスト、ディレクター等)
募集期間	5月27日(金)～6月12日(日)	6月20日(月)～7月4日(月)
実施期間	8月1日(月)～11月13日(日)の間で、3泊4日～6泊7日(推奨6泊7日)	
応募数	13団体	121人(23都府県)
決定数	12団体 (まちづくり:7団体、交流:2団体、農山漁村:2団体、文化:1団体)	38人(15都府県)

3 クリエイティブ人材の派遣制度

クリエイティブ人材の活動領域を拡大し、関わる人々の創造性が発揮される地域づくりに寄与するため、まちづくりや観光、福祉、教育、産業など様々な分野に、クリエイティブ人材を派遣する制度を創設した。

派遣実績

派遣先	人数	派遣日数
御殿場市	3人	2日

観光事業者との意見交換を進める中で、クリエイティブ人材が観光事業者の本音を引き出し、当初御殿場市が想定していた課題とは異なる課題が浮き彫りとなった。また、マイクロ・アート・ワーケーションに「旅人」として参加したクリエイティブ人材を本制度で派遣するなど、クリエイティブ人材との連携が広がっている。

4 地域産業とクリエイティブ人材マッチングモデル事業

地域産業とクリエイティブ人材を結び、ビジネス分野におけるクリエイティブ人材の活動領域の拡大につながる試行的な取組を行う企業と連携したモデル事業に取り組んだ。

マッチングの状況

地域産業とクリエイティブ人材	試作品
鉄工所 × 鉄作家 × デザイナー	アーティストによる嗜好性の高い鉄の道具(コーヒー器具)
製材所 × 木工作家 × デザイナー	稼働式カウンター
石工所 × キュレーター&アーティスト	カメラを用いたインテリア

プロダクトデザインから試作品の制作をとおして、地域のアーティストと産業事業者との相互理解と連携を深めるきっかけとなった。企業にとってはエンドユーザーの視点をデザイナーから得て、作品的な価値をアーティストから得ることにより、単価が上がるだけでなく新規事業の可能性も感じられた。



5 クリエイティブ人材副業調査

副業に係るクリエイティブ人材の意向を詳細に調査するとともに、企業側の意向を調査し、両者のニーズや課題等を把握し移住促進や関係人口創出施策への反映を目指した。

調査内容

- ① クリエイティブ人材の副業意向調査
- ② 県内等に業務拠点を置く企業を中心とした意向調査
- ③ ①②の結果等に基づくマッチング、副業の試行 など

6 フォーラムの開催

地域との連携を重視し、共創により住民の創造性を引き出す企業は、地域社会にイノベーションを起こす牽引役となり得る。このため、令和3年度「地域経済活性化モデル形成のためのパイロット事業」を行った企業の経営者を招き、クリエイティブと地域のイノベーションについて考えるフォーラムを開催した。

クリエイティブと地域のイノベーション
 令和4年11月2日(水) 13:00~15:30
 グランシップ 6階交流ホール+オンライン配信
 188名(会場参加…72名、オンライン視聴…116名)



内容	備考
基調講演「地域の価値を高める企業経営」	ACAO SPA&RESORT株式会社 中野善壽 代表取締役会長CEO
ゲストトーク①「オリーブ園を核とした地域づくり」	株式会社CREA FARM 西村やす子 代表取締役
ゲストトーク②「SWEETS BANKを拠点とした地域活性化」	有限会社春華堂 間宮純也 常務取締役
トークセッション「クリエイティブと地域のイノベーション」	中野氏、西村氏、間宮氏 (モデレーター:プログラム・ディレクター 鈴木一郎太)

フォーラムの開催を通して企業経営者からアートへの期待感が表明されたことで、アーツカウンシルしずおかへの理解が促進され、フォーラム終了後、企業関係者等からの問い合わせや相談が増え、新たな連携が生まれている。

7 成果報告会

「文化芸術による地域振興プログラム」の活動報告会を発展させ、「おもしろい人に会いたい!!2023」と題し、静岡におけるアートプロジェクトの見本市を開催した。アーツカウンシルしずおかの取組を様々な切り口で紹介し、関わる人々の創造性を引き出すアーティストやアートプロジェクトへの期待感を醸成した。

おもしろい人に会いたい!!2023
 しずおかアートプロジェクト見本市
 令和5年3月12日(日)
 10:00~16:30
 グランシップ 大ホール・海
 約900人



8 講座の開催

将来的に文化芸術に関わる書き手となる人材の発掘を目指し、アトライティング講座「かきかたきかく」を開催した。県内外からの参加者各々が400字以内で執筆し、講師の添削を受けて完成した課題文は、アーツカウンシルしずおかのWebサイトで公開した。

講師:福住 廉(ふくずみ・れん)
 美術批評家、秋田公立美術大学大学院准教授
 開催日:8月21日(日)、11月13日(日)
 各21人 参加費:5,000円

9 超老芸術

高齢者のユニークな芸術表現を取材し、Webサイト等で紹介。NHK(全国放送)でも特集され注目を集めた。

●これまでに紹介した人数:20人



10 相談窓口の運営

プログラム・ディレクター、コーディネーター、弁護士、税理士等が、アーティストや文化団体、行政、企業等の相談に応じた。

●相談件数:170件

アーツカウンシルしずおか
 2022年度事業の詳しい実施状況は
 【アーツカウンシルしずおか
 アニュアルレポート2022】
 を参照のこと



グランシップの施設利用

県民の学術・文化芸術活動発信の場を提供し、様々な文化活動を支援した。コンベンション等の誘致も積極的に行い国内外との交流を促進した。

●グランシップ全館を利用した大規模な学会を支援

内容または人数に合わせた各施設の利用方法を提案し、大人数でのシンポジウムや講演会の実施を支援した。

第55回東海薬剤師学術大会
 主催:公益社団法人静岡県薬剤師会
 11月27日(日) 全館 約1,200人
 薬剤師の倫理及び学術水準を高め、薬学及び薬業の進歩発展を図り国民の厚生福祉・健康の保持増進に寄与することを目的として開催。



Point

- グランシップでは、全館貸し切り利用が可能です。
- 9~12階フロアの貸し切りで割引も!
- ポスターセッションから各分科会まで用途に合わせた会場の利用方法を提案いたします。

●催事開催支援サービスによる、専門技術のサポート

映像セッティングを催事開催支援サービスで行うことにより、希望に寄り添った形での公演ができるようサポートした。

Legally Blonde the Musical Jr.
 主催:NPO法人アドリメイト
 2月26日(日)
 中ホール・大地
 約400人
 青少年の健全な育成と国際理解を図るため、小・中・高校生が出演するミュージカルの上演。



Point

- 催事開催支援サービスで音響・照明・舞台セッティングなど幅広い面で公演をお手伝いします!
- 中ホール・大地は音響設備に優れ、奥行きのある響きで公演を華やかに演出します。
- 大小の楽屋も豊富で見やすく使いやすいホールです。

●グランシップ広場との一体利用で賑わいの創出を

大ホール・海およびグランシップ広場を一体的に使用し、ホールでのトークイベントと、芝生広場でのマルシェの同時開催を実現。目的別に合わせた開催の場を提供し、賑わいの創出にもなった。



大河ドラマ「どうする家康」 東海プレミアリレー in 静岡～出陣式～
 主催:静岡市大河ドラマ「どうする家康」活用推進協議会・NHK 静岡放送局
 令和5年1月8日(日) 大ホール・海 約3,000人
 大河ドラマ「どうする家康」(NHK)の初回放送日に合わせ、主演の松本潤さんらによるトークイベント等を開催した。



Point

- グランシップ広場ではマルシェの開催など広大な空間を使った様々なご利用が可能です。
- 大ホール・海では最大約4,600人の収容が可能。多くの来場者が見込まれる大規模イベントにも対応!
- 大ホール・海に面したグランシップ広場の併用でイベント利用の幅も大きく広がります。

●同時通訳システムによる国際会議

同時通訳システムを用いて国際会議を支援、国際交流の場を作るよう推進した。

世界アマチュアオーケストラフォーラム in 静岡2022
 主催:認定NPO法人 世界アマチュアオーケストラ連盟
 9月3日(土) 会議ホール・風 約100人
 10か国からアマチュアオーケストラの代表者や青少年が参加し、オーケストラの社会的役割等についてプレゼンテーション、パネルディスカッションなどを実施した。



Point

- 同時通訳システムにより最大6か国語同時通訳に対応。国際会議場としての機能を果たします。
- 会議ホール・風はグランシップ最上階に位置し、スクール形式からシアター形式まで自在なレイアウトと2層吹き抜け構造の開放的な空間が魅力。
- ステージ側スライド式壁面を開けると窓越しに富士山の景観も楽しめます。

●2022年度来館者数…562,017人

●主要ホールの稼働実績 全体の稼働は77.3%

	大ホール	中ホール	交流ホール	会議ホール	展示ギャラリー	ホール系計
稼働実績	210日	232日	214日	213日	232日	1,101日
利用可能日数	259日	294日	312日	316日	325日	1,506日
稼働率 稼働実績/利用可能日数	81.1%	78.9%	68.6%	67.4%	71.4%	73.1%

●利用者アンケート結果

回答数	3,553件/4,902件 (回答率72.5%)	
結果	施設・備品が使いやすい	87.6%
	館内サインがわかりやすい	87.1%
	スタッフの対応が良い	89.1%

●グランシップ利用者会議

開催日	令和5年3月16日(木)
場所	グランシップ1202会議室
参加者	芝生広場を使用した5団体
意見内容	芝生広場を使用した催事の開催方法など

●催事開催支援サービス

グランシップでの催事開催にあたって必要な各種手配をワンストップで支援するサービス

分類	サービスの内訳
飲食	弁当、ケータリング、パーティー
設営	音響照明等セッティング、看板、生花、会場設営
清掃片付け	レイアウト転換、ごみ処理
その他	光回線貸出、コピー等事務サポート

●エネルギー使用実績

電気	5,458,560 kWh
ガス	573,301 m ³
エネルギー総量	78,558 GJ

主な貸館事業一覧

開催日	催事名	開催日	催事名
4/24(日)、8/28(日)	中部日本ダンス競技静岡県大会	11/12(土)	ふじのくに芸術祭邦楽演奏会
6/2(木)	中央労福協「2022年度全国研究集会(in静岡)」	11/13(日)	第62回静岡県芸術祭合唱コンクール
6/13(月)	静岡県立大学 グローバル地域センター 緊急国際フォーラム	11/19(土)~11/20(日)	第4回高校生が競うEnergyPitch!
7/20(水)~7/21(木)	TECH BEAT Shizuoka	11/21(月)	令和4(2022)年度第30回静岡県図書館大会
9/4(日)	第50回全国アマチュアオーケストラフェスティバル静岡大会	11/27(日)	第55回東海薬剤師学会大会
9/5(月)~9/7(水)	国際法学会2022年度(第125年次)研究大会	12/18(日)	静岡大学STEMアカデミー2022STEM探究活動発表会 第5回修了証書授与式
9/8(木)	令和4年度静岡県すこやか長寿祭総合開会式	1/3(火)	静岡市成人式
9/25(日)	第38回静岡接骨学会	1/8(日)	大河ドラマ「どうする家康」東海プレミアリレーin静岡~出陣式~
10/2(日)	第60回静岡県腎不全研究会	1/7(土)~1/9(月)	第10回静岡県民ミュージカル「バルク」
10/4(火)	静岡県厚生保護女性連盟記念大会結成60周年	1/27(金)~1/28(土)	第56回静岡県管打楽器アンサンブルコンテスト 高等学校の部
10/5(水)	静岡県産業安全衛生大会	1/29(日)	小児・AYA世代がん医療公開講座
10/7(金)~10/8(土)	第39回地方自治研究全国集会(静岡自治研)	2/1(水)	令和4年度静岡県中部地区 定時制通信制生徒合同文化祭
10/20(木)~10/23(日)	世界お茶まつり2022	2/16(木)	ふじのくに農地有効活用シンポジウム
10/27(木)~10/28(金)	第57回東海・北陸地区連合小学校長会 教育研究静岡大会	2/19(日)	ふじのくに芸術祭(第62回静岡県芸術祭) 春の祭典
10/27(木)	静岡市農業協同組合30周年記念式典	2/20(月)	令和4年度「体力アップコンテストしずおか」表彰式
11/3(木)	ヒガナンフェスティバル -子どもから大人まで楽しめる文化祭-	2/27(月)~3/1(水)	2023年3・1ピクニデー日本原水協全国集会
11/3(木)	静岡県高等学校文化連盟 「器楽・管弦楽」専門部第26回演奏会	3/5(日)	第61回静岡県腎不全研究会
11/8(火)	静岡市農業協同組合30周年記念式典	3/18(土)	第66回静岡腎セミナー
11/10(木)~11/11(金)	第50回東海・北陸地区公立学校教頭会研究大会 第49回静岡県公立小中学校教頭会研究大会		

施設のご予約・サービスに関するお問い合わせ

(公財)静岡県文化財団 利用サービス課

054-203-5713 (受付時間9:00~18:00 ※休館日を除く)

✉ yoyaku@granship.or.jp

空き状況は WEBで ご覧いただけます



グランシップ

検索



施設予約はコチラから

データで見るその他の取り組み

公益財団法人静岡県文化財団は、多岐にわたる事業や取り組みを通じて、県民文化の振興を図っています。これまでに取り上げていないものに関して、データを元にご紹介します。

1. 地域文化資源の掘り起こし

●書籍「しずおかの文化」配布

県内の文化資源の存在や価値を再発見し、県民の共有財産として後世に伝えていくため、書籍「しずおかの文化」を3巻発行し、県内の図書館、高校・大学等に配布した。

第4巻



うつりゆく駿河湾

～人と自然の関わりから見た過去、現在、そして未来～

発行日:7月31日
執筆:中西利典、日下宗一郎、渋川浩一、山田和芳、菅原大助、岡本一利、橋本正洋、印南敏秀、渡邊眞一郎、後藤 義正

第5巻



健康長寿県しずおかの秘密をひも解く

発行日:12月31日
執筆:尾島俊之、土屋厚子、原田英之、宮地良樹、中村美詠子、早坂信哉

第6巻



ふじのくにの文化財

発行日:令和5年3月31日
執筆:橋本敬之、松田香代子、鈴木基之、中山正典

2. 県委託・補助事業

●子どもが文化と出会う機会創出事業

静岡県内に活動拠点を置くプロオーケストラ(富士山静岡交響楽団、シンフォニエッタ静岡)による、小学校、中学校、高校等への地域訪問プログラムと未就学児対象コンサートによる音楽プログラム。

①地域訪問プログラム 開催実績 計20会場

実施日	学校名	実施日	学校名
5/31(火)	富士市立岩松小学校	10/6(木)	中央特別支援学校
6/14(火)	不二聖心女子学院中学校・高等学校	10/11(火)	伊東市立富戸小学校
6/27(月)	裾野市立須山小学校	10/19(水)	南伊豆町立南伊豆東中学校
6/29(水)	富士宮市立東小学校	10/24(月)	静岡県立浜北特別支援学校
7/8(金)	牧之原市菊川市学校組合立牧之原中学校	11/11(金)	菊川市立菊川西中学校
9/20(火)	沼津市立大岡小学校	11/21(月)	静岡県立御殿場特別支援学校
9/21(水)	下田市立大賀茂小学校	11/21(月)	静岡県立沼津特別支援学校 伊豆田方分校
9/21(水)	袋井市立浅羽中学校	11/22(火)	島田市立六合小学校
9/22(木)	磐田市立磐田西小学校	11/24(木)	川根本町立中川根南部小学校
10/5(水)	静岡県立新居高等学校 定時制課程	12/1(木)	藤枝市立岡部中学校

②未就学児プログラム 開催実績 計3会場

実施日	会場
9/23(金)	島田市総合施設プラザおおるり
10/8(土)	浜松市浜北文化センター
2/18(土)	三島市民文化会館



3. 防災訓練の実施

災害時における来館者の安全確保に万全を期すため、財団職員とだけでなく、常駐委託業者スタッフも参加した防災訓練を実施した。また、本番の総合防災訓練前に事前訓練を複数回行い、職員の防災スキルの向上を図った。



日時	内容
4/12(火)	年間訓練計画説明 自衛消防組織について 防火管理の重要性について
5/17(火)	火災想定事前訓練1
6/14(火)	火災想定事前訓練2
7/12(火)	火災想定総合防災訓練
10/11(火)	地震想定事前訓練1
11/15(火)	地震想定事前訓練2
12/6(火)	地震想定総合防災訓練事前訓練2
1/17(火)	地震想定総合防災訓練振り返り グランシップの消防設備・ 災害対応設備について
2/7(火)	救急救命講習
3/7(火)	テロ対策訓練

静岡県文化財団を支える人々、2022年度ご協賛・ご協力団体・企業

●グランシップサポーター

文化振興に関心があり、文化活動に積極的な県民の自主的な参加・参画を得て、グランシップの円滑な事業運営を図った。

(令和5年3月31日現在)

業務区分	内 容	登録者数
広報サポーター	ダイレクトメール発送、広報勉強会、来館者見学案内等	42人
イベントサポーター	受付、もぎり、資料配布、会場案内、避難誘導等	58人
撮影サポーター	イベント・公演時の記録撮影、記録写真の整理等	19人
託児サポーター	公演時の託児サービス等	8人
計	(兼務含む)	127人

●グランシップ友の会 (令和5年3月31日現在)

(1)個人会員 13,926人

(2)法人会員 23社

【特別会員】5社

静岡ガス株式会社 鈴与株式会社 株式会社静岡新聞社 静岡放送株式会社 株式会社静岡銀行

【一般会員】18社

株式会社ステージ・ループ静岡	静岡県ビルメンテナンス協同組合	静岡信用金庫
株式会社ピーエーシー	株式会社テレビ静岡	ダイドードリンコ株式会社
株式会社イノウエテクノ	静岡エフエム放送株式会社	株式会社日本平ホテル
株式会社コアズ	学校法人常葉大学	丸茂電機株式会社
株式会社ことのは社	株式会社東京企画装飾静岡	SUS株式会社
国立大学法人静岡大学	株式会社近藤リース	株式会社望月商事

●特別賛助会員

株式会社イノウエテクノ

●特別協賛

「グランシップ&静響ニューイヤーコンサート」

静岡ガス株式会社

●協賛・協力

「グランシップこどものくに」

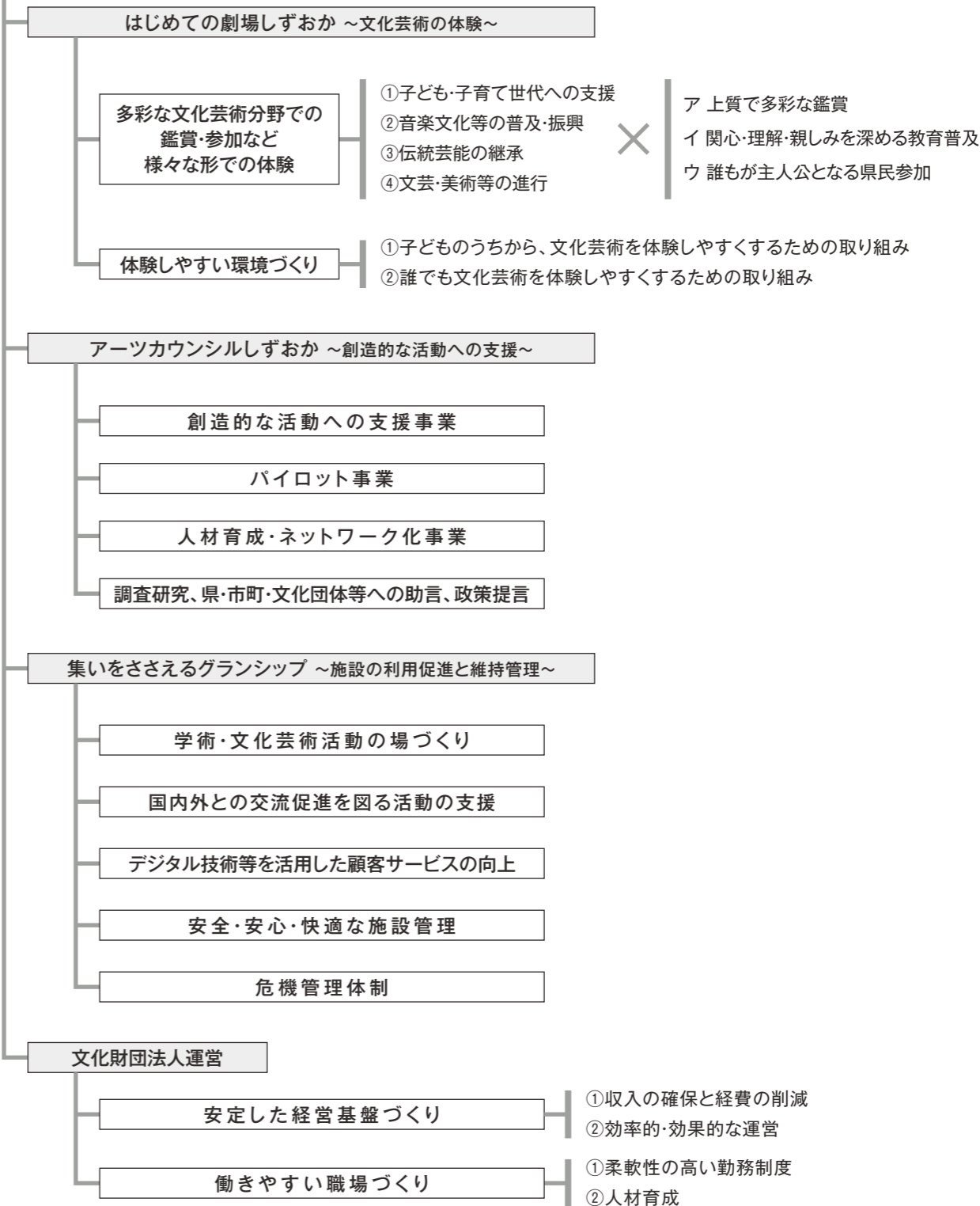
生活協同組合ユーコープ	静岡県牛乳普及協会	株式会社静岡リビング新聞社
株式会社しずおかオンライン	株式会社アイエイアイ	株式会社テレビ静岡
株式会社東海軒	清水食品株式会社	株式会社明治
ダイドードリンコ株式会社	MARK IS 静岡(三菱地所プロパティマネジメント株式会社)	
ホテルグランヒルズ静岡(ブリーズベイ静岡株式会社)		

2022年度 公益財団法人静岡県文化財団事業体系図

静岡県文化財団は、文化の力で、県民生活の向上と活力ある社会づくりを目指します。

使 命 > ●個性豊かな文化芸術が県民とともにある地域社会を創造する。
●人々が“集う・交流する”ことを促進する。

メッセージ > ~新しい価値を暮らしの中に~



2022年度決算状況

(単位:円)

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	文化・芸術	収益事業	友の会	小計				
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	3,696,481	0	0	0	2,320,000	—	6,016,481	
特定資産運用収益	0	0	0	0	56,600	—	56,600	
事業収益	823,115,169	475,447,812	8,708,211	484,156,023	12,256,239	△ 5,797,155	1,313,730,276	
受取補助金等	172,147,247	376,356	0	376,356	0	—	172,523,603	
特別賛助会員会費	100,000	0	0	0	0	—	100,000	
雑収益	99,756	1,238,824	0	1,238,824	0	—	1,338,580	
経常収益計	999,158,653	477,062,992	8,708,211	485,771,203	14,632,839	△ 5,797,155	1,493,765,540	
(2) 経常費用								
事業費	1,035,650,338	459,407,813	9,287,142	468,694,955	—	△ 5,797,155	1,498,548,138	
管理費	—	—	—	—	22,793,763	—	22,793,763	
経常費用計	1,035,650,338	459,407,813	9,287,142	468,694,955	22,793,763	△ 5,797,155	1,521,341,901	
(3) 評価損益等計	0	0	0	0	0	—	0	
当期経常増減額	△ 36,491,685	17,655,179	△ 578,931	17,076,248	△ 8,160,924	0	△ 27,576,361	
2 経常外増減の部								
(1) 経常外収益	—	—	—	—	—	—	—	
(2) 経常外費用	—	—	—	—	—	—	—	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	—	0	
3 他会計振替額	5,347,127	△ 13,508,051	0	△ 13,508,051	8,160,924	—	0	
4 法人税、住民税及び事業税	0	1,893,300	0	1,893,300	0	—	1,893,300	
当期一般正味財産増減額	△ 31,144,558	2,253,827	△ 578,931	1,674,897	0	0	△ 29,469,661	
一般正味財産期首残高	49,175,848	205,124,805	11,429,716	216,554,521	338,780	—	266,069,149	
一般正味財産期末残高	18,031,290	207,378,632	10,850,785	218,229,418	338,780	0	236,599,488	
II 指定正味財産増減の部								
(1) 基本財産評価益	835,200	0	0	0	556,800	—	1,392,000	
(2) 基本財産評価損	8,096,011	0	0	0	5,397,340	—	13,493,351	
(3) 基本財産売却損	1,340,186	0	0	0	893,458	—	2,233,644	
当期指定正味財産増減額	△ 8,600,997	0	0	0	△ 5,733,998	—	△ 14,334,995	
指定正味財産期首残高	621,557,624	0	0	0	414,371,749	—	1,035,929,373	
指定正味財産期末残高	612,956,627	0	0	0	408,637,751	—	1,021,594,378	
III 正味財産期末残高	630,987,917	207,378,632	10,850,785	218,229,418	408,976,531	—	1,258,193,866	

沿革

昭和59年5月	● 財団法人静岡県文化財団設立(基本財産:県9億円、市町村1億円、県民等47万円) 「文化鑑賞の提供事業」:地域音楽公演 「地域文化の振興事業」:文化団体への助成 「文化意識の啓発事業」:地域文化活動の顕彰 「文化情報の提供事業」:静岡の文化(季刊)の発行
昭和60年1月	● 季刊「静岡の文化」創刊号発行
平成6年	● (財)静岡県文化財団10周年記念出版「今川時代とその文化」発行
平成7年12月	● 静岡県が県民国際プラザ(仮称)建築工事着手
平成8年	● 静岡県は県民国際プラザ(仮称)の名称を「静岡県コンベンションアーツセンター」、愛称を全国公募により「グランシップ」に決定
平成10年11月	● (財)静岡県文化財団がグランシップ管理運営業務受託、テストラン実施(～11年2月)
平成11年3月13日	● グランシップ開館
平成11年3月～	● グランシップ開館記念事業開催(アニメーションワークス、バルーンアートフェスティバル 他)
平成16年3月～	● グランシップ開館5周年記念事業開催(糸操り人形「夢の浮橋～人形たちの「源氏物語」」、新作能「利休」 他)
平成18年4月	● (財)静岡県文化財団がグランシップ指定管理者として管理運営業務受託(3年間)
平成20年2月～	● グランシップ開館10周年記念事業(オペラ「椿姫」、北大路魯山人展 他)
平成21年4月	● (財)静岡県文化財団がグランシップ第2期指定管理者として管理運営業務受託(3年間)
平成23年2月	● 季刊「しずおかの文化」100号で廃刊、新たに「しずおかの文化新書」発行
平成23年4月	● 文化団体への助成を見直し、「ふじのくに文化芸術振興助成」制度開始 地域音楽公演に代わり、「中高生芸術鑑賞支援(県内の中高生がグランシップで芸術鑑賞する際の交通費支援)」事業開始
平成24年4月	● (財)静岡県文化財団がグランシップ第3期指定管理者として管理運営業務受託(5年間)
平成24年12月	● グランシップと中国浙江省杭州劇院との間で友好交流協定締結
平成25年4月	● 公益財団法人静岡県文化財団としてスタート
平成27年3月末	● 新情報誌「GRANSHIP」発行
平成29年4月	● (公財)静岡県文化財団がグランシップ第4期指定管理者として管理運営業務受託(5年間)
平成31年3月～	● グランシップ開館20周年記念事業開催(春の音楽祭等)
令和3年1月	● (公財)静岡県文化財団内に「アーツカウンシルしずおか」を設置
令和3年4月	● グランシップ1階に「アーツカウンシルしずおか」を開所
令和4年4月	● (公財)静岡県文化財団がグランシップ第5期指定管理者として管理運営業務受託(5年間)

グランシップ概要

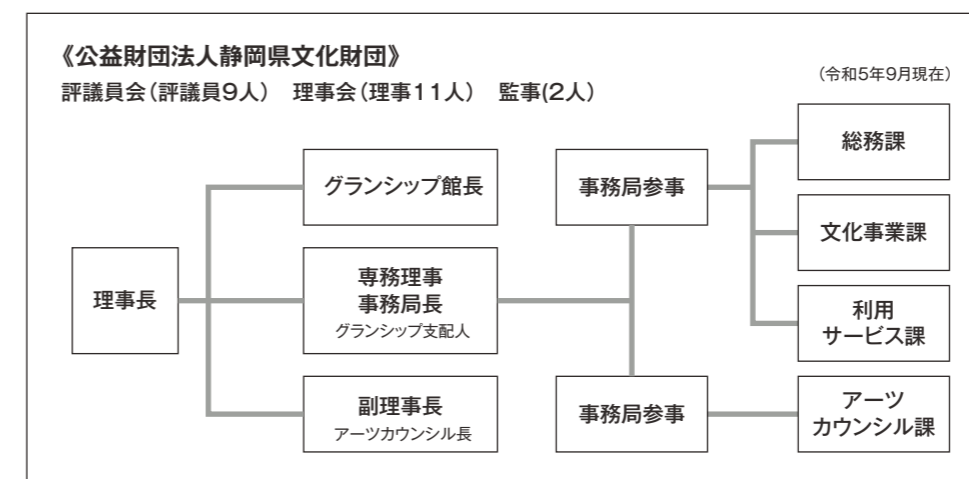
正式名称	静岡県コンベンションアーツセンター
所在地	静岡県静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号
開館時間	午前9時～午後10時
休館日	不定期、12月29日～1月3日
敷地面積	36,009.5㎡
建築面積	13,647.3㎡
延床面積	60,630.0㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造
階数	地上12階、地下2階
建物全長	約200m
最大幅	約80m
最高高さ	約60m
開館	平成11年3月13日
駐車場	約400台

グランシップ利用状況

主要施設稼働率							(単位:%)
年度	大ホール	中ホール	交流ホール	会議ホール	展示ギャラリー	全体平均	
令和2年	20.8	16.5	18.0	13.5	27.3	19.6	
令和3年	72.0	80.9	49.7	67.3	75.2	69.4	
令和4年	81.1	78.9	68.6	67.4	71.4	73.1	

※R2.9月～R3.2月は工事により全館休館。R3.3月～9月は一部休館。

グランシップ来館者数			(単位:人)
年度	来館者数	累計	
令和2年	39,417	14,928,310	
令和3年	222,432	15,150,742	
令和4年	562,017	15,712,759	



《グランシップ運営体制》

- グランシップサポーター
- 【舞台設備運営】株式会社ステージ・ループ静岡
- 【設備保守・インフォメーション】株式会社イノウエテクニカ
- 【警備】株式会社コアズ
- 【清掃】静岡県ビルメンテナンス協同組合
- 【レストラン・ケータリング】株式会社なすび